

NEW SOPHIA

ニュー ソフィア



新年を迎えて、法人役員と役職教員（本館玄関前）

理事長・大学長年頭挨拶

2

健康まるごと福岡歯科学園

3

福岡歯科大学FD研修会

4

学術フロンティア研究シンポジウム

5

上海交通大学口腔医学院から客員教員来学

6

FROM PARENTS 保護者からのメッセージ

7

FROM THE ALUMNI ASSOCIATION 同窓会だより

8

HI FROM CLINICS クリニックからこんにちは

9

平成20年度入試日程

福岡歯科大学特待生・福岡医療短期大学特別奨学生

10

『ニュー ソフィア』は福岡歯科学園
ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.fdcnet.ac.jp>

理事長・大学長 年頭挨拶

平成20年1月4日、本館講堂において田中健蔵理事長、本田武司福岡歯科大学長から年頭挨拶がありました(要旨は次とおり)。



中期構想 実現に向け、 努力を!

理事長
田中 健蔵

新年明けましてお目出とうございます。
世の中の動きは大変に激しく、多くの困難な課題が提起されています。私共は、そのような社会教育環境のなかで、歯科学園としての使命を認識し、建学の精神を忘れず、私共皆で作った中期構想の実現に努力したいと思います。

今年の目標として、第一に、口腔医学の学問体系を確立し、社会、学界、医療界の理解、協力を得るよう努力する。摂食、嚥下、消化、呼吸、発音、味覚と多様な機能を有する口腔という臓器の疾患の予防、治療を担当する専門分野として口腔医学(口腔科)の学問体系を確立することは、新時代の医療、歯科医療の将来像を考える上で、大変基本的なことである。「歯学より口腔医学へ」をモットーに皆で努力し、「医・歯一体化」の「知の統合」へ向けて、慎重にかつ着実に歩を進める。

第二に、教育の面では、実習重視型教育、チュートリアル教育および共用試験対策の充実に努め、学生が意欲をもって勉学するよう、教育カリキュラムの改変を行い、施設・設備の改善を行う。歯科医師国家試験合格率の上位定着をぜひ実現し、歯科衛生士試験の100%合格を目指す。「口腔医学の学問体系の確立」のためにも、カリキュラム、教育体制の整備と実効を示すことが大変重要である。

第三に、医科歯科総合病院が日本医療機能評価機構の適正な評価を得るよう、また、福岡医療短期大学は歯科衛生学科の専攻科が大学評価学位授与機構の認定を得て、口腔保健学士の学位取得を目指す。

第四に、研究の活性化のために、大学院の入学生を増し、研究の高度化に努めるとともに、万能細胞の開発以上の研究を目指し、学術フロンティア研究センターの再認可、グローバルCOEの獲得に努める。また、教育研究経費および教員の重点配分を行い、科学研究費等の外部資金の獲得に努める。

第五に、医科歯科総合病院の患者増を図り、学生の診療参加型臨床実習及び歯科医師臨床研修を充実させ、診療の責任体制を確立し、一般医科並びに新設の口腔顔面美容医療センターの充実を図る。また、病院情報システムの充実、情報公開にも努める。介護老人保健施設、介護老人福祉施設は地域の保健・福祉に貢献するとともに、教育・研究の場として一層の充実を図る。

最後に、第六として、教職員の考課制度を更に充実させ、処遇の適正化を図るとともに、研修を充実・強化して、教職員が明るく楽しい職場環境をつくり、その職務を全うし、学園の活性化に寄与することを目指す。

以上を今年の最重点目標として、皆さんと共に努力したいと考えています。



口腔医学の 確立・推進を

福岡歯科大学長
本田 武司

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、それぞれ年頭に当って学園の中期構想や将来構想を踏まえた目標をお立てになっておられることと思います。しかし、過去3年にわたる国家試験の成績不振、或いは10年にわたって継続してきたフロンティア研究が3月で終了する事、また、1月末には病院の機能評価を受審すること等を考え合わせますと、学園におけるこの1年は大変厳しく、また忙しい1年になるのではないのでしょうか。

このような状況の中で、私たちは歯科大学という極めて明確な目標を持った組織の中で仕事をする以上、建学の精神に則り、研究マインドを持った立派な口腔医の育成と、教育・研究・診療における優秀な後継者の養成が共通の目標であり、個々人の目標はこの上に成り立っているという共通認識を持つことが大切なのではないかと思います。

一昨年の年頭の挨拶で申し上げましたが、教育効果を上げるためには学生との距離を縮め、キャッチボール的指導を行うこと、患者さんを増員するためには良質の医療を提供するのは当然として、もっと患者さんと同じ目線で、しかも患者さんの気持ちをよく理解した医療を行うこと等、それぞれが自分なりの方法で何とか現状を打開したいという強い意識を持たなければなりません。

最近、医学部学生の定員増、薬学部の新・増設が検討・実施される中、歯学部では定員削減や国家試験合格基準の引き上げによる新規参入歯科医師の抑制など、歯科界の魅力を損ない、学生にも将来の不安を煽る様な流れが加速しています。

まさにこのような時期だからこそ、本学園が推進する口腔医学の理念を広く周知させる必要があるのではないのでしょうか。そのためには、なるべく早く学問的な体系を作り、医療系の各学会等を中心に広く受け入れてもらえるような努力をしなければなりません。そのためには、先ず皆さん方のこれからの目標の中に、是非、口腔医学の確立・推進に向けた努力を加えて頂き、目標達成のためにご協力をお願いしたいと思います。

口腔医学を推進するためには医・歯一元論に戻すことになり、現在の二元論による制度確立から既に約100年が経過していることを考えますと、大変地道で先の長い活動になりますが、今後100年の計を進めていくつもりで取り組まなくてはなりません。しかし、歯学を含めた医学・医療界の将来を考えたときに、是非とも必要なことであり、誰かが一步を踏み出さない限り進展はありません。成就是何時になるか分かりませんが、我々福岡歯科学園から発信したものが世の中を大きく変える喜びを感じながら、共通の目標に向かってスタートできたらと念じています。

特別寄稿:『「医歯一元論」で「知の統合」を』の別刷を文部科学大臣、厚生労働大臣等に送付

本学園は「口腔医学の確立」の実現に向け、口腔医学(口腔科)を創設・育成するという基本理念を広く社会にアピールしています。今回、田中健蔵理事長、本田武司学長、北村憲司学生部長による、『「医歯一元論」で「知の統合」を』(「学術の動向」平成19年9月号特別寄稿)の別刷を平成19年10月31日付けで、文部科学大臣、厚生労働大臣等に送付しました。

介護福祉士人材確保についての意見書を厚生労働大臣宛に送付

平成19年10月30日付け、理事長、福岡医療短期大学長、介護老人保健施設長および介護老人福祉施設長の連名で、厚生労働大臣宛に介護福祉士志望者ならびに介護施設従事者確保についての意見書を送付しました。意見書では、介護福祉士人材の確保には、①介護福祉士の処遇改善、②介護福祉士への専門的技術の付与、③介護保険制度の見直しと改善等の方策を具体的に推進してもらうことを要望しています。

これらの詳細については、本学園ホームページをご覧ください。

健康まるごと福岡歯科学園を開催

10月27日、28日の両日、医療・保健・福祉だけでなく、より広い分野で地域に貢献するため、3回目となる「健康まるごと福岡歯科学園」が開催され、延べ2000人以上の来場者で賑わいました。

田の歯科祭

第33回「田の歯科祭」が、正門北側駐車場を会場として開催されました。メインステージでは、BLUE RIVERを始めとする4組のお笑いライブやデュークズウォーキングレッスン、次郎丸中学校吹奏楽部による演奏、大ピンゴ大会などの企画が催されました。



信和保育園ジュニア太鼓

からだの科学展

「からだの科学展」が一見、聞く、触れる、からだの不思議—をテーマに福岡歯科大学本館1階で開催され、延べ573人が来場しました。特に、アルジネートボール作製やネイルアート、DNA模型作製、X線フィルムの現像体験などは多くの小中学生で賑わいました。



DNA模型を作ろう!

ご用心!お口と介護

福岡医療短期大学は、「ご用心!お口と介護」をテーマとして、歯科衛生学科は正しい歯磨き指導を行い、保健福祉学科は高齢者や障害者擬似体験として点字や車椅子体験コーナーを設けました。



歯の大切さをアピール!

医科・歯科無料相談

医科歯科総合病院では、専門医が健康に関する市民の悩みに答える「医科・歯科無料相談」が行われました。むし歯や子どもの歯並び、その他の医科・歯科相談など各相談コーナーに144人が訪れました。



歯科無料相談

講演会

10月28日午後1時から、福岡歯科大学本館501講義室で川原尚行氏(医師、NPO法人ロシナンテス理事長)による「スーダンからの熱きメッセージ」の講演が行われました。74人の参加者は、スーダンで医療援助活動に従事している川原氏の熱い思いを真剣に聞き入っていました。

介護施設見学・介護無料相談

サンシャインシティ及びサンシャインプラザには44人が施設見学や相談に訪れました。サンシャインシティでは、施設入所者が丹精こめて作製した作品(絵・書・手芸品)を展示しており、作品に見入る来場者が目立ちました。

3大学合同シンポジウム開催

11月3日、中村学園大学西1号館10階大講義室において中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学による「地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム」が開催されました。今回は「メタボリックシンドロームをいかに克服するか」をテーマとし、福岡歯科大学からは高橋裕・有床義歯学分野教授が「咀嚼と健康」について講演を行いました。会場に集まった約250人の参加者はテーマに対する関心が高く、公開討論では活発な質問が飛び交いました。



質問に答える高橋 裕教授(左)

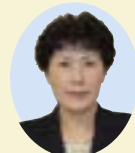


講演を熱心に聴く受講者

新任教員紹介

さとう あつこ
佐藤 敦子 教授

生体構造学講座
機能構造学分野



略歴

日本女子大学家政学部卒。九州大学大学院理学研究科博士課程単位取得後退学。福岡歯科大学講師、助教授、定員外教授を経て、平成20年1月1日付け、定員内教授に就任。理学博士、歯学博士。福岡県出身。

くろみず けんじ

黒水 健治 教授

機能生物化学講座
生化学分野



略歴

九州大学理学部卒。同大学大学院理学研究科博士課程修了、日本学術振興会研究奨励生、福岡歯科大学講師、助教授(平成19年4月から准教授)を経て、平成20年3月1日付け教授に就任予定(平成19年12月18日開催の第398回理事会で承認)。理学博士。宮崎県出身。

ひだか ますみ

日高 真純 准教授

細胞分子生物学講座
分子機能制御学分野



略歴

九州大学理学部卒。同大学大学院理学研究科修士課程、同大学大学院医学系研究科博士課程を修了。基礎生物学研究所助手、その間、米国コールドスプリングハーバー研究所博士研究員。その後、生物分子工学研究所主任研究員、九州大学大学院医学研究科学術研究員を経て、平成19年11月1日付け福岡歯科大学准教授に就任。博士(理学)。鹿児島県出身。

抱負

これまでの基礎生物学研究の経験を生かして、歯科医学を習得する上での基礎となる生命科学教育に貢献できるよう努力します。また、細胞死誘発による発がん抑制機構の研究を通して基礎医学の発展にも役立てるよう努めます。

第32回献体者慰霊祭

第32回献体者慰霊祭は、10月18日午後1時から博多区祇園町の普賢山萬行寺において、遺族、篤志献体申込者、福岡歯科大学学生ら355人が参列し、厳かに執り行われ、尊い1,370霊位のご冥福を祈念しました。



“弔慰のことば”を述べる学生代表 2学年 平野雄一君

第32回実験動物慰霊祭

第32回実験動物慰霊祭は、10月2日午後4時30分からアニマルセンターの実験動物慰霊碑前において、日頃アニマルセンターを利用し、実験等に携わる関係者が多数参列し、実験動物の諸霊に感謝し、冥福を祈念しました。

福岡歯科大学FD研修会

大学院FD研修会

10月2日、福岡歯科大学大学院FD研修会が「学生の学習を支援する道具としてのシラバス」(講師:長崎大学 大学教育機能開発センター評価・FD研究部門 岡田佳子准教授、長澤多代助教)をテーマに福岡歯科大学701教室で開催されました。研修会では、テーマ



ペアワーク演習を指導する岡田・長澤講師(10月2日)

についての講義だけでなく、ペアワーク演習を行うなど、より実践的な研修会であり、学生教育を行う上で大変有意義なものとなりました。

また、12月12日、同講師による「コミュニケーションツールとしての授業評価」をテーマに第2回目のFD研修会が行われました。



講義を行う岡田講師(12月12日)

平成19年度FDワークショップ

12月1日、第5回FDワークショップが「生きたシラバスを作ろう」をテーマに開催されました。参加した教員12人は、テーマに沿った4つの課題(ニーズの解析、教育目標、教育方略、教育評価)についてそれぞれ講義の後、グループ討論、全体討論を活発に行いました。今回は、カリキュラム立案とシラバス作成の作業を通して、授業計画を立案する能力の向上をはかり、歯科医学教育者としての指導能力を教育現場に反映できる技法の習得を目的に開催されました。



グループ討論

多肢選択問題作成ワークショップ

12月8日、多肢選択問題作成ワークショップが福岡歯科大学501講義室で開催されました。参加者は、岩手医科大学石橋寛二教授の「多肢選択問題作成を行う上での注意点」という講演を受けた後、事前に作成した多肢選択の試験問題を各グループで修正し、石橋教授の指導の下、グループ討論で修正した問題をさらに手直しました。その結果をグループごとに発表し、活発な意見交換を行いました。また、午後からは「歯科医師国家試験の最近の傾向」(講師:昭和大学、岡野友宏教授)をテーマとした講演が行われました。参加者からは大変有意義なワークショップだったとの感想が寄せられました。



岡野講師の講演

第34回福岡歯科大学学会総会

12月9日、第34回福岡歯科大学学会総会が福岡県歯科医師会館大ホール(福岡市中央区大名)で開催され、学内外から277人の参加がありました。学会総会は、松浦正朗学会長の挨拶から始まり、「口元の美しさ」をテーマに矢野裕子氏(資生堂ビューティーソリューション開発センター)の基調講演の後、シンポジウムが行われました。シンポジストは本学卒業の歯科医師川嶋俊明氏(1期生)、吉永修氏(4期生)や大慈弥裕之氏(福岡大学病院形成外科教授)が務め、参加者からは活発な質疑応答がありました。また、一般口演やポスター発表のほか、張建中・上海交通大学口腔医学院教授が審美補綴について招待講演を行いました。

今回の学会奨励賞には大学院4年森永健三氏(口腔インプラント学分野)と同4年大櫛幸子氏(矯正歯科学分野)が選ばれました。



ポスター展示を熱心に見る参加者

短大特色GP第3回 「口腔ケア実践教室」を開催

11月25日、「すぐに役立つ口腔ケア」をテーマに第3回口腔ケア実践教室が開催されました。今回は緒方稔泰教授による「よくわかる入れ歯の話」、サンシャインシティの泉蘭依歯科衛生士による「施設で働く歯科衛生士-効果的な口腔ケアの取り組み-」の講演のあと、堀部晴美准教授らによる実技講習「ご存知ですか?入れ歯のケア」が行われ、地域の介護職員など21人の参加がありました。

これは、平成18年度に福岡医療短期大学が文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」に選定された事業であり、地域啓発事業として今後も継続される予定です。



実技講習

学術フロンティア研究シンポジウム

10月29日、「Genomic Stability in Control of Diseases and Aging(疾患と老化を制御する遺伝子安定性)」についての国際シンポジウムが行われました。福岡歯科大学の3人の研



講演中のHanawalt教授(10月29日)

究者(早川浩、梅津桂子、高木康光)に加え、熊本大学の山縣ゆり子教授、九州大学の日高真純博士、海外からはスタンフォード大学(アメリカ)のP.C.Hanawalt教授、G.Spivak博士、ナント大学(フランス)のM.Takahashi教授が講演し、発がんや老化を抑える機構について活発な討議が交わされました。

また、12月5日には、「口腔疾患と骨代謝の制御」についてのシンポジウムが本学504講義室で開催されました。ここでは本学の3人の研究者(岡部幸司、山崎純、沢禎彦)が発表し、さらに埼玉医科大学の片桐岳信教授による「筋肉が骨に

変わる難病(FOP)」、東京医科歯科大学の高柳広教授による「破骨細胞分化」についての講演があり、非常に盛会のうちに終了しました。



熱心に講演に聞き入る参加者(12月5日)

私立大学等経常費補助金特別補助

日本私立学校振興・共済事業団の平成19年度私立大学等経常費補助金特別補助が内定しました。(補助金額は、所要経費の約50%。)

福岡歯科大学

教育・学習方法等改善支援

1.黒水健治(生化学分野・准教授)

テーマ:歯学教育における教養教育特別推進計画フェーズⅡ

【所要経費2,030千円、計画年度 平成17～19年度】

2.尾崎正雄(成育小児歯科学分野・准教授)

テーマ:歯牙切削感覚習得のためのバーチャルリアリティ教材の開発

【所要経費4,000千円、計画年度 平成17～19年度】



尾崎准教授のバーチャルリアリティを用いた切削教育システムの実演

3.松浦正朗(口腔インプラント学分野・教授)

テーマ:インプラント治療の普及に対応した卒前教育におけるマルチメディアの活用

【所要経費4,500千円、計画年度 平成17～19年度】



モニターカメラを手術室に取付け、診療室・実習室等に配信して手術状況を見学できるシステム

4.池邊哲郎(口腔外科学分野・教授)

テーマ:臨床口腔医学と生命科学の統合教育の推進

【所要経費3,000千円、計画年度 平成18～20年度】

5.坂上竜資(歯周病学分野・教授)

テーマ:3D画像・動画を用いた歯周病学教材ライブラリ

【所要経費4,000千円、計画年度 平成18～20年度】

6.谷口省吾(麻酔管理学分野・教授)

テーマ:マルチメディアを活用した救急処置学習支援のための教育システムの開発

【所要経費4,000千円、計画年度 平成18～20年度】

7.北村憲司(分子制御学分野・教授)

テーマ:統合型実習の一体性を強化するための視聴覚システムの導入

【所要経費1,000千円、計画年度 平成19～20年度】

福岡医療短期大学

教育・学習方法等改善支援

1.金子憲章(歯科衛生学科・教授)

テーマ:ユニバーサルプリコーションに基づく感染予防教育の改善

【所要経費1,720千円、計画年度 平成19～20年度】

科学技術振興機構から補助金

独立行政法人科学技術振興機構から、地域発新産業の創出を目的として交付される重点地域研究開発推進プログラム(シーズ発掘試験)補助金を松家茂樹生体工学分野教授が受けました。

テーマ: Sr含有炭酸アパタイト骨置換材の開発(期間:平成19年～平成20年3月、補助金額2,000千円)

日本学術振興会から補助金

独立行政法人日本学術振興会から二国間交流事業(共同研究)で松家茂樹生体工学分野教授がイギリスとの共同研究(テーマ:生体活性ガラスの構造およびその結晶化過程)で補助金を受けました。

(期間:平成18年4月～平成20年3月、補助金額2,500千円)



イギリス・バーミンガム大学にて、本学松家教授(右から4人目)と共同研究者のDr.Stamboulis(右から5人目)

短大に文科省から研究設備等整備費の補助金

福岡医療短期大学が申請した「アスベスト除去工事(内定額 11,025千円)」と「医療系学生のための情報処理教育設備整備事業(内定額 5,302千円)」に対し、文部科学省の平成19年度私立大学等研究設備整備費等補助金の交付が内定しました。

上海交通大学口腔医学院から客員教員来学

リ チャオルン
李 超倫 客員講師

(上海交通大学 口腔医学院 講師)

滞在期間9月23日～12月21日(歯周病学分野)

初めて訪れた日本は、きれいで清潔なことにびっくりしました。大学の方たちを始め出会ったすべての人が優しかったので、福岡での生活は楽しかったです。よく大学周辺を自転車で走りましたし、私は魚料理が好きなので、福岡でも魚をたくさん食べました。福岡歯科大学では、歯周病とインプラントの技術を勉強していますが、教育・研究の現状を知り、両大学のさらなる交流を促進するために役立ちたいと思っています。(李先生は12月に帰国されましたが、お土産はデジタルカメラと奥様へ化粧品を購入されたそうです。)



インプラント学分野研究室で李先生(右)と孫先生(左)

スン ジェン
孫 健 客員准教授

(上海交通大学 口腔医学院 准教授)

滞在期間9月23日～20年3月16日(口腔インプラント学分野)

今回は、上海交通大学口腔医学院補綴科の中にインプラント学分野が新設されたため、福岡歯科大学でインプラント治療における口腔外科と補綴科との連携について勉強するために来ました。日本は初めてですが、環境が良く、清潔で、大学の方々が親切なので福岡の生活にはすぐに慣れました。また、社会秩序が安定、安全で、人々がお互いに譲り合う気持ちがあることにびっくりしました。福岡では海や海辺の景色が好きです。そしてラーメンも好きです。3月に帰国しますが、この経験を上海に帰り両大学の交流に役立つよう活かしていければと思います。

本学大学院生が慶熙大学校歯科大学で国際交流プログラムを受講

平成19年10月7日～20日の日程で大学院生4人と引率の教員2人は、国際交流派遣団として姉妹校の慶熙(キョンヒ)大学校歯科大学(韓国・ソウル市)を訪問し、研修および交流を行いました。今回の派遣目的は本学の大学院選択必修テーマ「国際医療事情-日韓の口腔疾患の動態および医療体系の相違-」に関する国際交流プログラムの受講および慶熙大学校歯科大学学生との交流でした。

この国際交流プログラムは、慶熙大学校の協力の下、特別講義5題、附属病院8診療科見学、East-west neo medical centerでの研修など盛りだくさんな内容でした。本学にはないOral Medicine科(口腔内科)で、慢性疼痛の患者さんに針を使った治療や独自に考案した治療法が施されていること、学生臨床実習のためのstudent clinicがあることなどが強く印象に

残ったと参加した大学院生たちは感想を述べていました。

毎日の研修後は、親くなった慶熙大学校の先生方や学生たちと一緒に食事に行く機会もあり、研修以外での交流においても有意義なものがあったようです。



本学と慶熙大学校との記念撮影



学生たちの交流、ソウルの夜は更けない...

韓国

平成19年9月13日から15日まで歯科衛生学科3年生67人は、廣瀬武尚准教授、松尾忠行准教授、貴島聡子助教の引率により姉妹校である東釜山大学歯衛生科(韓国・釜山市)を訪問しました。東釜山大学では、施設見学のほか、交流会が催され、そこでは韓国語で挨拶し、お互いに歌や踊りなどを披露するなど、東釜山大学の学生と親しく交流することができました。



交流会での挨拶

短大・海外研修

平成19年9月15日から29日まで、歯科衛生学科の10人(専攻科生7人と3年生3人)が、緒方稔泰教授の引率によりアメリカ・カリフォルニア州ノースリッジ地区、ロマリダ地区にて研修を行いました。ロマリダ大学(歯学部・歯科衛生学部)、チャファイ大学(歯科助手学部)及び各地区の歯科開業医を訪問し、セミナーを受講するなど研修を行うとともに、現地中学校を訪問し、生徒に日本の折り紙を披露・指導をして文化交流も行いました。



チャファイ大学にて

アメリカ合衆国

海外研修派遣

【福岡歯科大学】

所属分野	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
口腔インプラント学	教授	松浦正朗	2007年第3回Asian academy of osseointegration年次総会に出席と講演	台北(台湾)	自:H.19.10.5 至:H.19.10.8
成育小児歯科学	教授	本川渉	国際交流推進(慶熙大学校歯科大学における本学大学院生の国際交流プログラム実施)	ソウル(韓国)	自:H.19.10.7 至:H.19.10.14
病態構造学	教授	谷口邦久			自:H.19.10.14 至:H.19.10.20
総合歯科学	講師	内藤徹	第15回コクラン・コロキウム会議出席および第93回米国歯周病学会にて発表	サンパウロ(ブラジル) ワシントン(アメリカ)	自:H.19.10.20 至:H.19.11.1
口腔インプラント学	准教授	城戸寛史	European association for osseointegrationにて発表	バルセロナ(スペイン)	自:H.19.10.24 至:H.19.10.29
口腔インプラント学	教授	松浦正朗	口腔頭蓋顎顔面インプラント学習班への参加	上海(中国)	自:H.19.11.1 至:H.19.11.4
生体工学	教授	松家茂樹	バーミンガム大学 Dr.Artemis Stamboulis とロンドン、インペリアル大学のProfessor Robert Hill ならびに他のイギリス側研究者と従来の研究成果並びに今後の研究計画についての打ち合わせ	ロンドン バーミンガム(イギリス)	自:H.19.12.6 至:H.19.12.13

保護者からのメッセージ FROM PARENTS



深江 順吾 = 文

「体・技・心」

一期生の私が入学した頃は、周囲に民家は少なく田畑に囲まれ、背振の山が直接見えていたと記憶しています。故坂本良春先生をはじめ同級生で硬式テニス部を創部しましたが、肝心なテニスコートがまだ無いような時代でした。息子が入学し、時の経過を感じながら最近の大学内外の環境に接して、新鮮な気持ちで福岡歯科大学を見れるようになりました。息子が生き生きとして、意欲を持ち、充実した学生生活を楽しんでいるようで、会う度に遅くなってきたように思えます。これも偏に大学関係者の皆様の温かい支えのおかげと心から感謝しています。

先生方の顔ぶれも変わり、会合で新しい先生方にお逢いできるのはうれしいのですが、今春黒水健治先生も退職されるということで、思い出深い私の学生時代の先生方が去っていかれ寂しい気もします。また、この歳になると毎年親しい大切な人の悲しい知らせが届くようになりました。卒業後まもなく生じた腰痛とも永い付き合いで、

毎日自分の体調と相談しながら生活しています。

あるスポーツ選手の講演会で、心・技・体ではなく、体・技・心である、と語っていました。私も全く同感です。技・心も大切なことはもちろんです。精神面の強さを保ち集中する、言わんとする事は分かりますが、何よりも体調に不安があれば集中力は薄れ、日頃から磨いた技も切れが悪くなるでしょう。日々の生活に追われ、無理をするなど言うのが無理な事が多い毎日ですが、月並みな言い方ですが「健康が一番!」。

細川護熙元総理の福岡歯科大学同窓会20周年記念式典での言葉に“教養とは思いやり”との一言を覚えています。知識、技術は身につくでしょうが、仕事のみならず生活する中で、人と接する際にこの教養も忘れて欲しくないものです。



久鍋 清 = 文

「健康」

全国のご父兄の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。私は開業暦30年近くの一歯科医です。当初は患者さんも多く、診療終了後も馬車馬のごとく働き、患者さんとのコミュニケーションは不十分であるが、歯の痛みを止め、良く噛めないという患者さんのストレス解消に努めてまいりました。ある時、高齢な方(女性)を治療し終えた時、その方が「なかなか“お迎え”が来ないのですよ」と言われた時、びっくりし同情しました。今思えば当時から高齢化社会が始まっていたのでしょう。

歯科界におきましては、例の「1億円小切手」事件以来逆風にさらされ、国民の信頼も低下し、他業種の人達からは歯医者さんはお金持ちですと言われる始末です。以来、政府の医療費抑制策にあり、歯科界は頭を押さえられていましたが、今回の参院選で歯科界は一体となり、若い石井み

どり氏を国会に送り出すことが出来たので今後に期待したいと思います。

最近では“健康ブーム”の高まりで、肥満、糖尿、高血圧などメタボリックシンドローム対策として老いも若きも、昼夜を問わずウォーキング、ジョギングをしているのを目にします。爆発的に売れたトレーニングDVD「ビリーズ・ブートキャンプ」が有名ですが、テレビの前で長く続くのでしょうか？

緊張の連続のストレスをためずに毎日の食生活を見直し、適度な運動やストレッチを続けながら健康管理して診療したいと思います。

平成18年から歯科医師臨床研修制度が義務化され、学生さんを懇切丁寧に指導されている関係者の皆様の努力に心から敬意を表わすと共に深く感謝を申し上げます。

短大保健福祉学科 施設実習決意式

11月13日、福岡医療短期大学305教室で、施設実習を行う保健福祉学科1年生23人の決意式が行われ、栢豪洋短期大学長式辞の後、1年生を代表して水上貴太君が実習に対する誓いのことばを述べました。



「誓いのことば」を述べる水上貴太君

平成20年度学友会 総務委員長決定



任期満了に伴う福岡歯科大学学友会総務委員長の改選が12月17日に行われ、4学年高田俊輔君が総投票数562票中492票(88%)の信任票を獲得し、4月1日付けで平成20年度学友会総務委員長に就任することが決定しました。

歯学体冬期部門開催

第40回全日本歯科学学生総合体育大会冬期部門(事務主管:岩手医科大学歯学部、部門主管:奥羽大学歯学部)のラグビーフットボール部門が12月23日から28日の日程で福島県郡山市の日本大学工学部グラウンド他で開催されました。本学は、2回戦で日本大学松戸歯学部と対戦し、日頃の練習の成果を発揮しましたが、熱戦の末24対5で敗退しました。

From The Alumni Association

■平成19年度福岡歯科大学同窓会近畿ブロック学術講演会



八木隆史兵庫支部長の挨拶

平成19年8月4日土曜、神戸市灘区御開業の高端泰信先生(広島大学歯学部卒、大阪大学大学院歯学研究科修了、シカゴ大学歯学部文部省在外研究員)を講師に迎え、「磁性アタッチメントを応用した義歯の設計」という演題にて、平成19年度福岡歯科大学同窓会近畿ブロック学術講演会を開催しました。

今年度は兵庫県支部が当番となり、当日

近畿二府四県から同窓会会員38人の出席がありました。

講演内容は演題にある、磁性アタッチメントに関するのみならず、日常臨床における、インプラント、咬合、歯周補綴、患者とのインフォームド・コンセント等々、多岐にわたった内容で、参加者には即、明日からの診療に役立つ内容のもので、講演後の質疑応答にも日常臨床に即した内容が多数出されたため、終了時間を大幅に延長するほどでした。

また、当日は講師の高端先生のご尽力により、磁性アタッチメントの製造元である愛知製鋼から、理工学的な解説と商品展示、参考書籍の寄贈があったことを付け加えておきます。

講演終了後は、場所を神戸センタープラザ19階の東天紅に移し、懇親会を開催、当日は神戸市の海上花火大会と重なり、夏の夜空

に上る花火を見ながら、神戸の中華料理を堪能しました。

懇親会では、近畿ブロック各支部から同窓会活動や近況報告をいただき、盛会のうちに終了しました。

遠方より参加された会員には、当日神戸泊という方もおられて、懇親会終了後に夜の三宮にて旧交を深められたことと思います。

坪田 照彦(4期)



講演会会場

■福岡歯科大学同窓会本部への「skype」の導入とメールマガジンの配信

福岡歯科大学同窓会では、通信業務の円滑化およびコストダウンを目的とした無料IP電話「skype(スカイプ)」の導入と、同窓会の情報を、会員の皆様のお手元により早くお伝えする目的でメールマガジンの発行を行っております。

まず、「skype」は、ソフトウェアを無料でダウンロードでき、付加機能を使用しなければ無料で通話できます。この導入方法は、「skype」のホームページ(<http://www.skype.com/intl/ja/>)または「福岡歯科大学同窓会ホームページ」(<http://www.fdcnet.ac.jp/col/collink/alumnus/>)の「広報」にリンクを準備して紹介しております。なお、同窓会本部のskype名は「fdc_alumni_association」となっております。

次に、メールマガジンは、月に1回発行を行っております。メールマガジンの内容は、福岡歯科大学同窓会の事業報告、福岡歯科大学の情報など

リアルタイムで新鮮な情報をお伝えすることを心がけております。また、慶弔につきましては、同窓会本部に情報が入り次第、臨時発行という形でお手元にお届けしております。

皆様も、メールマガジンを受け取るためには、コンピュータまたは携帯電話のメールアドレスを同窓会本部へ登録する必要があります。受信をご希望される方は、「dousokai@college.fdcnet.ac.jp」宛に「メールマガジン希望」のタイトルで、メールをお送り頂き、ご本人の確認をさせていただいたのちに、配信させていただきます。

今後、ネットワーク等を福岡歯科大学同窓会の発展のために利用できる要素はたくさんあると思います。皆様からもアイデアをお寄せいただけたら幸いです。

小柳 進祐(広報、企画・情報理事、12期)

卒業生トーク「感謝」 鬼塚 得也(14期)



大学を卒業して16年経った今私は、口腔治療学講座歯周病学分野に所属し、学生教育、歯周治療を中心とした臨床、歯周組織再生および歯周病原性細菌に関する基礎的・臨床的研究を行っております。元来勉強嫌いの私が今こうしていただけるのも、多くの先生や諸先輩方のお力添えの賜物と思っております。

その勉強嫌いの私は、長嶋茂雄の影響から野球を始め、高校では甲子園出場という貴重な経験をさせていただき、その後の浪人、大学時代では、今思えば恥しい悪戯、やんちゃな事で両親ばかりか周囲の方々に多大な迷惑をかけていました。大学卒業後は、学内とプロ・アマの野球関係者との出会いから野球を再開し、大学職員チームでの数々の優勝と最近では社会人クラブチームでの全国大会出場(ベスト16)という経験もさせていただきました。私に限らず誰でも同じような経験をしているのかもしれませんが、私がこれまで生きてきた中で野球、臨床、研究、悪戯では、両親・先生・友人・先輩の苦言・

助言が私にとって大きなものであり、また心の支えでもあり、今更遅いかもしれませんが、とても感謝しています。今後は、「感謝の心」を忘れずに「目標達成のために今何をしなければならないのか。」ということを日常の生活を含めて後輩、学生に私の経験を活かし指導していこうと思っております。と言いながら、未だに心の支えでもあり、多大な迷惑をかけている方もおります……。



野球!

開業してみても



皆さんこんにちは。私は、昨年春に福岡市南区で開業しました武富と言います。

平成10年に大学を卒業して、2年間研修医として九州大学の補綴科で学ばせて頂き、その後数軒の佐賀県内の歯科医院でお世話になりました。

特に、開業直前にお世話になった歯科医院では、患者さんとのコミュニケーションのとり方や歯科治療に対する姿勢など、自分では分かっているつもりになっていたところを再認識させられ、大変勉強になりました。

もともと自分一人で開業することなどは学生時代には考えておらず、いろんな事情で突然開業する運びとなったので、現在も歯科衛生士である妻に雑用、その他を任せる日々を送っております。

開業してまだ10ヶ月ぐらいですが、勤務医時代と比べて、院長先生などからのプレッシャー?がなくなった分、自分のペースで診療はできますが、今更ながらに患者さんとのコミュニケーションの大切さを痛感させられています。

あと、自分が不健康な状態では、患者さんに満足のいく治療は提供できないので、健康にも少しは気を遣うようになりました。

患者さんが望んでいる治療と、自分が提供したい治療をいかに近づけるか試行錯誤している毎日ですが、少しでも患者さんが笑顔で帰って行かれるようにこれからも努力していきたいと思います。

最後になりましたが、開業に際して多くの助言を頂いた友人や諸先輩方に感謝致します。本当にありがとうございました。

たけとみ歯科クリニック(福岡市南区)
武富 敏彦(20期) =文

写真上=たけとみ歯科クリニックの外観
 写真下=院長(右端)とスタッフ



出会い



父が四十年開業した場所から移転して、三度目の春を迎えようとしています。

私は大学卒業後、福岡歯科大学第一口腔外科での研修を終え、大学の先輩でもある熊本の森智昌先生のもとで、歯科医師という仕事のすばらしさと厳しさを教えて頂きました。いつも迷惑をかけていた私を、四年もの間ご指導して頂き、森先生には心から感謝しております。

五年前の秋に私は父を亡くし、福岡に戻る決心をしました。それから歯科医師である姉と力を合わせ何とかやって来ました。今日までやって来られたのも、今まで出会ってきたすばらしい方々のおかげだと思っています。

医院移転当初、汗をかきながら「やっと、見つけたよ。」と言って嬉しそうに来てくれた患者さん、「おめでとう。」と言って花束を持って来てくれた患者さん。今でも思い出すと胸が熱くなります。

また、診療のこと・経営のこと・家族のことなど親身になり、相談にのって助言して頂いた勉強会の濱田法康先生と津野敬一郎先生。大学時代に所属していた柔道部の後輩というだけで、一生懸命に指導して下さいた重住大乘先生。本当に有り難うございます。

そして、山本歯科医院の仲間達。毎日誰よりも早く来て診療の準備をし、「おはようございます。」と明るく元気な声で、朝のポーっとした私の頭をシャキッとさせてくれたり、すぐに患者さんと仲良くなって、先生には言いにくい本音を聞き出して、教えてくれたり。患者さんを待たせない良い方法は?本当に歯の大切さを理解してもらうためには?と、少しでも良くしていこうと日々努力してくれている仲間達です。

すばらしい人達とその出会いに感謝しつつ、この場所で、父の頑張った四十年に負けずに、新たな四十年を刻んでいこうと思います。

山本歯科医院(福岡市早良区)
山本 祐詩(20期) =文

写真上=山本歯科医院の外観
 写真下=院長(前列中央)・副院長と仲間たち



平成20年度これからの入学試験日程

福岡歯科大学 歯学部				福岡歯科大学大学院 歯学研究所
区分	一般入試A日程	センター試験利用入試	一般入試B日程	二次募集
募集人員	約46名	約10名	約10名	18名
出願受付期間	H20.1.4(金)～1.29(火)	H20.1.21(月)～2.13(水)	H20.2.12(火)～3.6(木)	H20.1.28(月)～2.15(金)
試験日	2月1日(金)	2月16日(土)	3月10日(月)	2月21日(木)
合格発表日	2月6日(水)	2月20日(水)	3月12日(水)	3月6日(木)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp			

福岡医療短期大学・歯科衛生学科				
区分	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	AO入試
募集人員	15名	約5名	若干名	約40名
出願受付期間	H20.1.4(金)～1.29(火)	H20.2.4(月)～2.21(木)	H20.3.3(月)～3.10(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	2月1日(金)	2月23日(土)	3月12日(水)	
合格発表日	2月6日(水)	2月29日(金)	3月14日(金)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 歯科衛生学科入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Hyg ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp			

福岡医療短期大学・保健福祉学科					
区分	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	一般入試D日程	AO入試
募集人員	10名	若干名	若干名	若干名	約20名
出願受付期間	H20.1.4(金)～1.29(火)	H20.2.4(月)～2.21(木)	H20.3.3(月)～3.10(月)	H20.3.14(金)～3.24(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	2月1日(金)	2月23日(土)	3月12日(水)	3月26日(水)	
合格発表日	2月6日(水)	2月29日(金)	3月14日(金)	3月27日(木)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 保健福祉学科入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Wel ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp				

特待生・特別奨学生決定

福岡歯科大学特待生

福岡歯科大学・平成19年度第1学年の特待生に二反田詩織さんが選ばれました。特待生は、学業成績が特に優秀であり、品行方正、かつ健康であることを加味して決定され、その年度の授業料の半額が免除されます。



二反田 詩織

福岡医療短期大学特別奨学生

福岡医療短期大学・平成19年度第1学年の特別奨学生に次の6人が選ばれました。

特別奨学生は、その年度の授業料の半額が免除されます。

歯科衛生学科



吉永 綾子



佐藤 由香里



平田 千里

保健福祉学科



河野 章人



雪野 綾子



山崎 友里恵

サンシャインシティ・サンシャインプラザ 「クリスマス・忘年会」

12月16日、介護老人保健施設サンシャインシティで、「クリスマス・忘年会」が開催され、入所者や職員による合唱や出し物などが披露され、入所者やそのご家族と一緒に楽しい時間を過ごしました。

また、隣接の介護老人福祉施設サンシャインプラザにおいても、12月19日に忘年会が行われ、職員による出し物などが披露され、盛況のうちに終了しました。



サンシャインシティ クリスマス・忘年会



サンシャインプラザ 忘年会

福岡歯科学園主催 餅つき

12月27日、本館学生食堂南側の庭園で恒例の「餅つき」が行われました。餅つきには役員や教職員約150人が参加し、1時間で約30kgの餅をつきあげ親睦を深めました。

